

2025年(令和7)年度 社会福祉法人こぶしの会 年間事業報告

■はじめに

2025年度は、年度当初に、就労継続支援事業B型(ここに・すたあと)と共同生活援助事業(グループホームひまわり)の2事業において、サービス管理者の資格が失効していたことが判明し、その対応に追われることとなりました。2026年1月には、奈良市の運営指導が、法人、生活介護事業(こっから)、相談支援事業で行われることになり、その対応にも大きな力を割くことになりました。一方で、NPO法人COMとの提携・合併の方向が確認され、具体的化が進んでいます。このように2025年度は、法人として課題や今後の方向性を見つめ直す機会となりました。また、法人設立25年を迎え、これまでの事業を着実に行うとともに、仲間・家族の高齢化、施設・設備の老朽化等が進んでおり、各事業の見直しも避けては通れない状況です。

こうした中で、2025年度は、法人の現状や課題把握が優先し、新たな5か年計画づくりについても着手しはじめましたが、作成にまでは至っていません。早急に進めることが求められています。

■具体的な取り組み

1. 拡大、事業みなおし

- ・仲間・家族の高齢化、生活の変化を見据えて、GHをはじめ各事業所のあり方の論議をはじめた。法人の管理者だけでなく、仲間・家族、職員などの意見を反映させるために、意見を聞く機会を設けてきた。
- ・NPO法人COMとの連携・合併に向けて、両法人での論議をすすめた。

2. 財政基盤の確立・強化

- ・サービス管理者資格失効問題があり、その対応と赤字決算にならないことに注力した。影響を最小限に抑え、最終的には、法人全体としては黒字決算となった。
- ・すたあとで仲間(利用者)を増やすことを行った。

3. 職場改善と人材確保

- ・働き方の多様化を踏まえ、短時間常勤職員の制度を始めた。今後も制度を広げていく必要がある
- ・労基法に基づく働き方を踏まえ、残業や休暇・休憩問題の改善を進めた。最低賃金に伴う賃金アップ等常勤・非常勤を問わず、改善をおこなった。
- ・人材確保のために、ハローワークや人材会社を積極的に使った。人材確保委員会は来年度にむけ、強化を行った。

4. 職員育成と実践の向上

- ・年4回(方針会議、総括会議、研修2回)の法人全体の取組みを充実させ、仲間支援に関する報告を積極的に取り入れた。
- ・事業所ごとの職員会議・班会議の定例化を行う。ケース会議についても、仲間の状況に応じて行った。

5. 大規模自然災害や感染症への対応

- ・大規模地震を想定し、BCP(事業継続計画)を、より具体的で、実施できるものへと改定を重ねた。各事業所で備蓄整備・点検も進めた。避難訓練や職員研修で震災時の簡易トイレ設置の訓練も行った。
- ・感染症対策委員会を法人組織に位置づけることを行い、感染症対策についても強化した。

6. 地域や関係団体との共同・連携・公益性の向上

- ・奈良で10月に開催された「きょうされん第48回全国大会」成功のために、法人として、可能な限り、職員派遣、予算への協力等を行った。
- ・GHの運営を地域住民に開かれたものにしていくために、義務化になった「地域連携推進会議」を開催し、地域住民との交流を進めた。

7. 第2期事業計画の策定

- ・事業計画策定に反映させるために、職員向けアンケートを実施した。引き続き策定にむけ努力していく。

■コミュニティワークこっから 事業報告

1. 施設の概要

- ① 施設名 コミュニティワークこっから
- ② 所在地 奈良市古市町529-4
- ③ 開設日 平成14年4月1日
- ④ 施設種別 生活介護
- ⑤ 定員 36名
- ⑥ 建物等 敷地面積1,323㎡ 規模及び構造597,20㎡(1階鉄筋平屋建て)
- ⑦ 作業内容 食品製造(パン・クッキー等/とうふ) 紙すき・印刷 軽作業・配達・活動
- ⑧ 施設職員 31名(委託職員を除く)
常勤正規/14名 非常勤/19名

2. 利用者の状況(2026年3月31日付)

- ① 利用者数 46名(男性23名/女性23名)
- ② 平均年齢 40.9歳(21歳~67歳)
- ③ 平均程度区分 4.9
- ④ 障害手帳 療育手帳A(38名)/B(6名) 身障手帳(4名)
- ⑤ 居住地 奈良市(44名) 大和郡山市(1名) 生駒市(1名)
- ⑥ 通所方法 単独通所 送迎バス利用 自宅送迎 家族送迎
- ⑦ 利用時間 9:30 ~ 16:00
- ⑧ 給料 日給制(個別給) 1,000円 650円 400円 300円
賞与(年間1ヶ月)
今期 3,000円/月 6,000円/月
- ⑨ 行事 季節ごとに実施 ※別項目参照
- ⑩ 負担金 実費負担/食費(減免措置有り)、旅行積み立て、自治会費
- ⑪ 自治会活動 週1回程度の当事者役員会

3. 施設運営

- ・どんなに重い障害があっても「働く権利を有する事を保障し、1人ひとりの「はたらく」を通じ人間的に成長、発達すること、すべての障害のある人たちの権利保障をめざし活動する
- ・障害のある人の生活支援を通じて、誰もが安心して豊かに暮らせる地域づくりをめざす
- ・障害のある人が主人公として地域で暮らしていく拠点として、生活全般を支援する活動をする

4. 利用実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	平均
営業日数	20	24	22	24	19	22	21.8
登録者数	46	46	46	46	46	46	46.0
総利用者数	859	835	897	934	718	814	831.0
1日平均利用数	43.0	34.8	40.8	38.9	37.8	37.0	38.1
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	前年度比
営業日数	24	20	22	21	20	24	99%
登録者数	46	46	46	46	46	46	100%
総利用者数	883	754	836	813	761	868	99%
1日平均利用数	36.8	37.7	38.0	38.7	38.1	36.2	100%

5. 助成事業・寄付等

- イオンビッグ株式会社 様
イオン幸せのイエローレシートキャンペーンで、ビッグエキストラ大安寺店様よりギフトカードを寄贈していただいた。
- イオンリテール株式会社 様
イオン幸せのイエローレシートキャンペーンで、イオンスタイル奈良様よりギフトカードを寄贈していただいた。
- 株式会社カーブスジャパン 様
株式会社清水商店カーブス事業部[カーブスアルプラザ木津店様・カーブスガーデンモール木津川店様、カーブスJR奈良店様、カーブス奈良パワーシティ店様]、アドバンステクノロジー株式会社ウエルネス事業部[カーブスイオンタウン天理店様]より、フードドライブ活動として食材品・日用品を寄贈していただいた。
- 雇用開発助成金(特定就職困難コース)
- 福利厚生センター健診費用助成
30歳以上の会員の生活習慣病予防検診の一部助成
- もったいないNARA様
野菜や果物を定期的に寄贈していただいた。
- 地域の方より たくさんのお野菜をいただいた。

6. 事業活動

授産事業

	パン工房	喫茶・店舗	紙漉き	とうふ工房	リサイクル	下請け作業他	事業販売
事業収入	5,417,489	104,310	1,256,743	3,626,137	40,390	148,580	2,422,432
前年度比	104.1%	121.1%	161.5%	96.9%	97.0%	196.5%	93.7%
材料費	3,011,714	175,420	140,353	2,679,054	0	34,766	1,724,865
前年度比	107.8%	131.0%	223.1%	81.1%			77.1%
労務費	905,300		557,000	842,500	553,500		
経費				2,138,481			
減価償却費				628,009			
支出合計				13,390,962			

合計

収入	事業収入合計	13,016,081
支出	材料費	7,766,172
	労務費	2,858,300
	経費	2,138,481
	減価償却費	628,009
	支出合計	13,390,962
収支差額		-374,881

出張販売

	内 容
4月	奈良レクリエーション学校 /
5月	護国神社春の大祭 / すくすくマルシェ(NPO法人ともに)
6月	
7月	
8月	
9月	奈良育英中学校文化祭出店販売
10月	護国神社秋の大祭 / さららの木「夏のつどい」出店販売
11月	おかたに健康まつり /
12月	
1月	はたらく障害者応援フェア in イオンモール大和郡山
2月	
3月	椿祭り(護国神社)販売会 / 南部公民館祭り

定点販売

デリカフェいぼ	火・木	とうふ
いっぼ	火	食パン
ヘックスハイブ	月～金	食パン
社会福祉法人協同福祉会	月4回	洋菓子
花しば	金	とうふ
木のうた(奈良店・西の京店)	火・金	食パン、とうふ
NPO法人ともに「すくすく」	金	食パン、とうふ
「あおば」	木・金	食パン、とうふ
カフェ タンネ	月	食パン
みずいるカフェ(水・木・金)	月	食パン
奈良おおの農園	月2～3回	洋菓子
奈良教育大学付属小学校	月3回	とうふ
call	火	とうふ

7. 行事等

各月行事・イベント

	内 容
4月	こっから仲間日帰り旅行(USJ) / 奈良レクリエーション学校出店 / 東山魁夷版画展(イオンホール大和)
5月	奈良県障害者・家族・県民のつながり祭
6月	
7月	地域別福祉就職フェアIN大和郡山出展(大和郡山イオンホール)
8月	
9月	健康診断 / こっから仲間夏祭り
10月	きょうされん第48回全国大会 in 奈良
11月	東市敬老の集い / 東市まるごとフェスタ / 岡谷病院健康まつり / さくら夢フェスタ(都南中学校)
12月	クリスマス会 / 年末班別対抗歌合戦
1月	初詣(全体) / 書初め / 成人式
2月	
3月	福祉・保育のお仕事フェア出展(奈良コンベンションセンター) / 椿まつり

8. 見学・研修

施設見学・研修来所

日付	来所者	人数
4/2	個人 見学来所	1
7/1	個人 見学来所	1
7/9	個人 見学来所	1
7/10	個人 見学来所	1
8/12	個人 見学来所	1
10/28	個人 見学来所	1
12/11	団体 見学来所	2
2/18	個人 見学来所	1
3/3	個人 見学来所	1
合計		10

体験・実習

日付	来所者	人数
7/8	福祉職場体験実習受け入れ(奈良県人材センター主催)	1
7/24	明治小学校教職員見学研修	20
8/5	奈良東養護学校高等部2年生 職場体験実習(8/5～6)	1
10/22	奈良教育大学附属中学校 体験実習	8
11/6・7・8	都南中学校(2年生) 職場体験実習	3
11/6	東市小学校(2年生) 見学研修	20
1/16	奈良教育大学教職員、大学院生見学研修	8
2/19	福祉職場体験実習受け入れ(奈良県人材センター主催)	1
合計		40

施設(内外)研修

日付	研修名	備考
4/27	東市地区社会福祉協議会総会	施設外
4/27	東市地区自主防犯協議会総会	施設外
4/29	きょうされん奈良支部総会	施設外
5/10	法人全体方針会議	施設内
5/14	社会福祉士養成実習受け入れ研修	施設外
6/22	非核平和の集い(奈良弁護士会館)	施設外
7/19	兄弟、家族のかたちフォーラム&映画大好き上映会(京都女子大)	施設外
7/31	安全運転管理者講習	施設外
8/24	法人全体研修会	施設内
10/17・18	きょうされん第48回全国大会 in 奈良	施設外
12/7	法人全体研修会	施設内
12/13	奈良市福祉避難所設置訓練(あゆみの家)	施設外
1/22・23	奈良県サービス管理責任者実践研修	施設外
1/29	奈良市法務ガバンス課 実地運営指導	WEB
2/5・6	奈良県サービス管理責任者実践研修	施設外
2/5・6	もったいないNARA実践交流会	施設外
2/16・17	奈良県サービス管理責任者実践研修	施設外
2/28	法人総括会議	施設内
3/7	南部公民館祭り	施設外
3/15～19	能登半島災害支援派遣	施設外

9. 地域との連携

- ① 東市クリーンコミュニティに参加し地域清掃に取り組んだ。
地域の方との共同清掃活動を、こっからの仲間全員(参加希望者を毎回募る)が関わることになり交流が広がった。(毎月第三火曜日14時から1時間)。
- ② こっから横の休耕地をお借りし、仲間の取り組みとして野菜作りを行った。
- ③ 高円の杜納涼盆踊り大会の実行員会参加、会場設置及び当日屋台出店を行った
- ④ 東市地区敬老の集い参加者の送迎及び来賓として出席
- ⑤ 東市小学校150周年記念東市まるごとフェスタ実行員会への参加及びテントの貸し出しを行った
- ⑥ 奈良県障害者・家族・県民のつながり祭へのテント貸し出しを行った
- ⑦ さくら夢フェスタ(都南中学校区地域教育協議会)への『とんとナン』のナン提供およびカレー作りへの協力を行った
- ⑧ 椿祭り及び護国神社春秋の大祭へ出店した。
- ⑨ 奈良マラソン実行員会へ当日の給水所として駐車場の貸し出しを行った。

10. 設備改修

- 高圧変電装置設置に向けた土木工事 ■ 高圧変電装置新規購入 ■ マイクロバス大規模修繕

■ここに／すたあと事業報告

1. 施設の概要

- ① 設置主体 社会福祉法人こぶしの会
 ② 施設名 ここに／すたあと
 ③ 所在地 奈良市古市町2159-4 / 奈良市出屋敷町140-2
 ④ 開設日 平成23年6月1日
 ⑤ 施設種別 就労継続支援B型
 ⑥ 定員 20名
 ⑦ 建物等 ここに 113.24㎡(1階木造平屋建て)
 すたあと 79.48㎡(2階木造合金メッキ鋼板葺き)
 ⑧ 作業内容 ここに 野菜等の販売、惣菜等製造販売、グループホーム夕食づくり
 すたあと 軽作業、グループホーム除草作業
 ⑨ 施設職員 ここに 常勤正規4名(うち兼務1名) 非常勤3名
 すたあと 常勤正規2名(うち兼務1名)

2. 利用者の状況(2026年3月31日付)

- ① 利用者数 ここに 10名(男性5名/女性5名)
 (3月末時点) すたあと 8名(男性4名/女性4名)
 日中一時 2名(男性1名/女性1名)
 ② 平均年齢 ここに 39.8歳(23歳~66歳)
 すたあと 40.5歳(28歳~57歳)
 ③ 障害手帳 ここに 療育手帳A(1名)/B(8名) 精神保健福祉手帳 3級(1名)
 すたあと 療育手帳A(5名)/B(2名) 精神保健福祉手帳 2級(1名) 身体障害者手帳 3級
 ④ 居住地 ここに 奈良市(10名)
 すたあと 奈良市(6名)、生駒市(1名)、橿原市(1名)
 ⑤ 通所方法 単独通所
 ⑥ 労働時間 9:30~16:00
 ⑦ 給料 日給制 2,000円 1,500円 1,000円 800円 600円 400円 特別調理手当(200円/回)
 平均工賃20,147円/月
 賞与(年間2ヶ月支給) 年度末に期末手当を支給(2万円をベースに出勤率で計算)
 ⑧ 行事 季節ごとに実施 ※別紙参照
 ⑨ 負担金 実費負担/食費、旅行積み立て、自治会費
 ⑩ 自治会活動 毎月1回の全体会

3. 施設運営

- ・13年間に渡る無認可小規模作業所運動の実践を基礎に、地域に根ざした施設運営をめざす
- ・どんなに重い障害があっても「働く」ことと人間的に発達することを大切にし、すべての障害のある人たちの権利保障をめざし活動する
- ・障害のある人の生活支援を通じて、誰もが安心して豊かに暮せる地域づくりをめざす

4. 利用実績

就労継続支援B型事業

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
営業日数	24	24	24	23	21	23	
登録者数	18	18	18	18	18	18	
総利用者数	316	314	307	317	279	299	
1日平均利用数	13.2	13.1	12.8	13.8	13.3	13.0	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
営業日数	25	22	20	19	18	20	21.9
登録者数	18	18	18	18	18	18	18.0
総利用者数	297	253	274	261	255	289	288.4
1日平均利用数	11.9	11.5	13.7	13.7	14.2	14.5	13.2

5. 補助・助成事業

- イオン幸せの黄色いレシートキャンペーンにより、日用品を購入した。

6. 事業活動

就労支援事業

	ここに・すたあと合計
事業収入	8,033,404
前年度比	95.4%
材料費	4,011,665
前年度比	96.0%
労務費	3,320,350
経費	610,866
収支差額	90,523

7. 見学・研修

施設見学・研修

日付	来所者	人数
11/10~18	天理大学社会福祉士実習(ここに・すたあと)	2

8. 行事等

各月行事・イベント

	内 容
4月	天理大学ダンス部公演(すたあと)/きょうされん奈良支部総会
5月	BBQ(すたあと)/つながり祭(ここに・すたあと)/青空子ども食堂(すたあと)
6月	五條ふえすていばる(すたあと)
7月	居酒屋&BAR(すたあと)
8月	生駒どんどこ祭り/奈良のうたまつり2025(すたあと)
9月	奈良市写真美術館/田原稲刈りイベント(すたあと)
10月	ぼかぼか祭り(すたあと)
11月	
12月	ピースコンサート/クリスマスミュージカル(すたあと)
1月	山焼きパーティー(すたあと)
2月	京都競馬場(すたあと)
3月	イチゴ開所日(すたあと)/SPACEファッションショー

体験・実習

日付	来所者	人数
1/27~30	利用希望者実習(すたあと)	1
2/24~27	利用希望者実習(すたあと)	1
3/24~27	利用希望者実習(すたあと)	1
		1

施設(内外)研修

日付	研 修 名	備 考
4/13	能登半島地震から考える災害対策とまちづくり	施設外
4/26	いきいき教育大集会	施設外
4/29	きょうされん奈良支部総会	施設内
5/17	きょうされん和歌山支部総会	施設外
6/14	医療や福祉にとどまらないひきこもり支援	施設外
6/28	GH学習交流会	施設内
8/23	法人全体研修	施設内
10/17~18	きょうされん第48回全国大会in奈良	施設外
10/26	成年後見制度	施設外
11/1	全障研学習会	施設外
11/30~12/1	きょうされん近畿北陸ブロック学習交流会in兵庫	施設外
12/6	法人全体研修/ピースアクションin奈良	施設内外
1/25	世の中のモヤモヤを哲学する	施設外
1/31	今の戦争時代に憲法9条で未来を築く	施設外
2/8	全障研冬の実践交流会	施設外

9. 地域との連携

- 自治会主催の町内清掃に参加した他、古市公園のトイレ清掃を依頼され請け負った生け花教室は月2回開催。近隣施設への場所貸し

10. 活動総括

- 地域の公共トイレの清掃、企業からの内職の請負など新たな仕事として取り組んだ。
- 仲間の給料昇給を2名行い、年二回のボーナスに加え、年度末に期末手当を支給した。
- 地域貢献としての清掃活動、ここに市の開催を行った。
- 今年度より、ここに・すたあととはそれぞれで仲間自治会・開所日をおこなった。
- 農業専門家派遣(4回)を受け、キウイ栽培等についての指導を受けた。
- 能登半島地震支援(2/1~7)に参加した。

■ふゅーちゃー事業報告

1. 事業所の概要

- ① 設置主体 社会福祉法人こぶしの会
- ② 事業所名 (1) ケアホーム春日苑(共同生活援助)
 - (i) 共同住居すまいる
 - (ii) 共同住居ぐうぐうハウス(2) すまいる(短期入所)
- (3) ひまわり(共同生活援助)
- ③ 所在地 (1) 奈良市古市町93-1
 - (i) 共同住居すまいる 奈良市古市町93-1
 - (ii) 共同住居ぐうぐうハウス 奈良市古市町2139-41(2) 奈良市古市町93-1
- (3) 奈良市古市町1846-80
- ④ 施設種別 (1) 共同生活援助(包括型)
- (2) 短期入所事業
- (3) 共同生活援助(日中サービス支援型)
- ⑤ 定員 (1) 15人
- (2) 4人
- (3) 11人
- ⑥ 職員 38人(常勤専任7人、常勤兼任5人、非常勤26人)

2. 利用状況

- ① 利用状況 別紙のとおり

3. 事業所の運営

- ① 運営の概要 (1) 共同住居すまいるにて奈良市9名、大和郡山市1名の共同生活援助の実施
共同住居ぐうぐうハウスにて奈良市4名の共同生活援助の実施
- (2) ひまわりにて奈良市9名、御所市1名、生駒市1名の共同生活援助の実施
- (3) すまいるにて短期入所(2Fのみ)実施。

■こぶしの会相談支援センター 事業報告

1. 事業の概要

- | | |
|--------|------------------|
| ① 施設名 | こぶしの会相談支援センター |
| ② 所在地 | 奈良市古市町529-4 |
| ③ 開設日 | 平成26年9月1日 |
| ④ 事業種別 | 指定計画相談支援 障害児相談支援 |
| ⑤ 職員 | 2名(兼職含む) |

2. 事業

①相談支援活動の概要

専任1名、兼務1名の相談員2人体制で、94人の相談ケースを担当した。こっから所属43名、ここに・すたあと14名、地域37名(児童7人・成人30人)。複数体制になったことで、兼務相談員はここに・すたあとの14名すべてを担当し、指導監査においても協力して対応することができた。相談支援担当者会議開催も始まっている。地域からの新規要請は体制がとれず原則お断りしているが、支援件数は微増している。引き続き法人内で相談支援事業をどう位置付けていくのか、制度動向なども注視しながら、議論をしていくことが求められる。

②障害児相談

今年度は要対協関連(要保護児童)の相談が多かった。本人と同時に家族支援の比重が大きく他機関と連携して対応をすすめてきた。制度の谷間にあり、計画相談の枠を超えて実働することが多かった。とりわけ外国人のケースは、障害そのものの捉え方をはじめ、言葉の壁、文化の違い、経済的問題など困難が重層的であり、改めて、外国人施策の貧しさ、相談体制の不備を実感するものとなっている。また、地域の学校で発達障害のある子どもの置かれている状況の厳しさを実感している。登校拒否などに直結することも起こりやすく、意識的にケース会議をもち、学童保育や、放課後デイ、学校、また家族とともに行動背景を読み解いたり、合理的配慮を求めることを取り組んできた。思春期の課題なども含め、発達、療育・教育行政の仕組み等について学びながら、すすめていく。

③地域の相談

困難ケースが多いが、粘りづよく関わりを続ける中で、ひきこもりを克服したり、企業就労が継続できたり、医療や介護につながることであった事例がある。また、猛暑から体調を崩す精神障害のある人の入院ケースが複数あり、他科受診や検査の付き添い、退院後の生活支援等で社協や生活保護課と共に対応中のケースもある。福祉事業全体が人手不足によって、サービスを縮小し、対応の穴を埋めるために相談支援が実働することも多く、行政と課題を共有する機会にはなり得た。支援者からの相談も多く、本人理解や、実践の糸口、介入のタイミング等を一緒に考える中で、いろいろな事業所と信頼関係をつくってこれたのは何よりの宝物である。引き続き、自立支援協議会や相談支援事業所連絡会等を通じて必要なしくみや、社会資源をつくらせることが必要である。

④法人内相談活動

他事業所を併用利用する人が増え、調整役としての相談支援の役割が大きくなっている。また、家族の高齢化から、各種申請や行政手続きの代行に留まらず、相談支援が高齢福祉の橋渡しをおこなうケースもある。法人に対して、ショートステイの再開や、第2すまいる建設などの要望も強い。相談支援の情報提供と共に、家族同士が話し合う機会や、成年後見、親亡き後の暮らしの場について学習懇談会を開催したい。あわせて、具体的な対応や改善がはかれるよう、普段から支援者も含めて相談しやすい窓口として機能していくことが大切である。長期にわたってこぶしの会を休所しているケースも複数あり、定期的に家庭訪問して、医療機関・行政につなげる努力をおこなっている。

⑤その他

相談員が複数になったことで相談支援会議も実施したが、定期開催はできなかった。自立支援協議会の事例検討会や、奈良市相談支援事業所連絡会を通じて困難ケースを共有し、自立支援協議会にあげてきた。奈良市は就労Bや、グループホームの新規参入が著しいが、障害の重い人に対応できる場所は少ない。人手不足から老舗法人が居宅支援や相談支援を縮小する傾向も伺える。きょうされんの相談支援部会を通じて実態調査、厚労省交渉を重ね、基本報酬の引き上げ等、制度の改善を求めていく。相談支援の力量を高め、ライフステージを見越した支援の提案ができるために引き続き幅広い分野で自主研修をすすめていく。

3.利用実績

(件数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
計画相談	3	4	1	4	4	8
モニタリング	28	14	16	17	12	6
児童	1	2	4	2	1	4
成人	30	16	13	19	15	10
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
計画相談	7	5	4	2	5	3
モニタリング	26	15	13	17	13	16
児童	1	2	4	1	3	5
成人	32	18	13	18	15	14
合計	R6	R5	R4	R3	R2	
計画相談	50	61	74	101	102	94
モニタリング	193	191	210	219	241	217
児童	30	33	46	45		
成人	213	218	226	275		

登録94人 内訳:児童7人、成人87人 児童:小学4人、中学2人、高等部1人
こっから・ここに・すたあと所属57人 地域37人

4. 研修

施設(内外)研修

日付	研修名	備考
4/26	サ連協 障害児教育講演 三木裕和氏	自主
4/28	障害者問題研究を読む会「発達相談と相談支援」	自主
4/29	きょうされん支部総会	自主
5/27	生活保護裁判報告集会	自主
5/28・29	きょうされん全国総会・国会請願	施設外
6/1	全障研奈良大会 講演:木下孝司氏	自主
6/22	日本福祉大同窓会 記念講演講師	講師活動
6/28	奈良障害フォーラム総会 講演:障害基礎年金不支給問題	自主
7/12	奈障連総会 いのちのとりで裁判報告	自主
7/17	天海裁判判決報告集会	自主
8/1	まほろばあいサポート総会	自主
8/9~10	全障研広島大会 特別分科会	自主
8/23	法人全体研修	法人
9/21	全障研みんなのねがい編集委員会	自主
10/17~18	きょうされん奈良大会 基礎講座講師他	講師活動
10/26~11/1	JDF能登半島障害者被災地支援	自主
11/10	障害者自立支援違憲訴訟定期協議	自主
11/30~12/1	きょうされん近畿北陸ブロック研修 かがやき神戸	施設外
12/6	法人研修	法人
12/12	相談支援所連絡会「生活保護問題」	自主
1/12	発達心理学会公開研修会「特別支援学級」	自主
1/16	奈良教育大学院 講演	講師活動
1/30~31	きょうされん経営管理者研修 神奈川	施設外
2/8	全障研冬の講座 河南勝氏講演	自主

■「地域における公益的な取組」の実施についての報告

実施事業所	生活介護 (こっから)	生活介護 (こっから)	生活介護 (こっから)
公益的な取り組み名称	クリーンコミュニティ活動	地域の小学校、中学校からの体験実習受け入れ	移動困難な高齢者の送迎
地域が抱える課題	近隣の広大公園の清掃維持管理が難しい	職場体験実習、施設見学箇所を地域で確保することが難しくなっている	地域で開催される敬老の集いに移動困難な高齢者が参加しづらい
対象者	地域住民・利用者	地域住民(通学生及び教育関係者)	地域住民
取組内容	東市地区のボランティア団体と共同にて月1回火曜日、近隣公園の清掃及び除草等維持管理を施設利用者の活動として取り組んでいる。	無償にて、施設見学、人権学習、職場体験実習を毎年随時受け入れている	施設の公用車(マイクロバス及び普通車)と運転手(従業者)にて敬老会参加者一部を地域拠点数カ所から会場まで無償で送迎している
取組による主な効果	公園の美化維持 地域住民と利用者の活動を通しての交流	福祉教育の推進	地域の高齢者が参加しやすくなった

実施事業所	就労継続支援B型 (ここに)	共同生活援助 (ひまわり・春日苑)
公益的な取り組み名称	「ここに市」の実施	入居者家族等への日常生活支援
地域が抱える課題	近隣に生鮮食品を買える店舗がない	共同生活住居入居者の家族の高齢化に伴い、これまで入居者を支えてきたご家族自身が支援を必要としている
対象者	地域住民	地域住民(入居者家族)
取組内容	週1回ここに市の開催 野菜や果物、惣菜やパン豆腐の販売 希望者へは自宅へ配達(配達料無料)	入居者実家家族へ買い物支援など日常生活上の便宜
取組による主な効果	地域住民の買い物の利便性向上 店舗での住民同士の交流 地域での障害者理解の深化	入居者本人の安定、相談支援やご家族介護サービスとの連携の開拓等

◆共同生活援助事業(包括)

事業所名称	ケアホーム春日苑							
事業所開設年月日	2006 年 10 月 1 日							
事業種別	共同生活援助	事業類型	包括型					
定員	15	年度内の定員変更の有無	(無)	有の場合	→			
					年	月より		
年度内延べ利用	3558 人日	区分、種別 毎延べ利用	区分1	0 人日	区分2	0 人日	区分3	0 人日
			区分4	809 人日	区分5	1402 人日	区分6	1483 人日
年度開所日数	365 日		年度利用率			67.5%		
年度内取得加算	夜間支援体制加算	重度障害者支援加算	処遇改善加算Ⅰ	帰宅時支援加算				
	人員配置Ⅱ							
年度末登録者	14 人							
障害福祉サービス費以外の費用負担	食費	900円	/日	備考	昼食提供の場合400円			
	実費(家賃)	47,000円	/月	備考	全員補足給付10,000円給付			
	実費(光熱水費)	9,000円	/月	備考				
	実費(その他)	3,000円	/月	備考	共益			
	実費(その他)	300円	/月	備考	教養娯楽			

経過的 居宅介護対 象	区分毎 延べ利用	区分4	0	人日
		区分5	0	人日
		区分6	0	人日

人員配置		常勤	非常勤 (常勤換算)	派遣等 (常勤換算)	業務委託 (常勤換算)	合計
	管理者	1		0	0	1
	サービス管理責任者		1	0	0	1
	看護師等	0		0	0	
	生活支援員	2	8	0	0	13
	世話人		6	0	0	10

業務委託	給食(全面)		給食(部分)	○	清掃	○	洗濯	
	送迎		宿直		労務管理		会計・請求	○
	その他							

併設短期入所	(有)	無	定員	4	区分	医療型	福祉型
定員の変更(年度内)	有	(無)		→			月より
年度開所日数	127	日					
障害児利用状況		区分1	区分2	区分3			
	短期のみ	0	0	0			
	日中含む	0	0	0			
障害者利用状況		区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6
	短期のみ	0	0	8	87	30	0
	日中含む	0	0	0	0	0	0

◆共同生活援助事業(日中)

事業所名称		ひまわり						
事業所開設年月日		2022 年 5 月 1 日						
事業種別	共同生活援助	事業類型	日中サービス支援型					
定員	11	年度内の定員変更の有無	(無)	有の場合	→ 年 月より			
年度内延べ利用	2,904	区分、種別 毎延べ利用	区分1	0 人日	区分2	0 人日	区分3	711 人日
			うち 日中含む	0	うち 日中含む	0	うち 日中含む	1人日
	人日		区分4	716 人日	区分5	266 人日	区分6	1,191 人日
			うち 日中含む	117人日	うち 日中含む		うち 日中含む	142人日
年度開所日数	365	日	年度利用率			71.8%	%	
年度内 取得加算	処遇改善加算Ⅱ		重度加算		帰宅時支援加算		人員配置Ⅲ	
年度末 登録者	11	人						
障害福祉サービス費 以外の費用負担	食費	900円	/日	備考	昼食提供の場合400円			
	実費 (家賃)	47,000円	/月	備考	全員補足給付10,000円給付			
	実費 (光熱水費)	9,000円	/月	備考				
	実費 (その他)	3,000円	/月	備考	共益			
	実費 (その他)	300円	/月	備考	教養娯楽			
経過的 居宅介護対 象	区分毎 延べ利用	区分4	0	人日				
		区分5	0	人日				
		区分6	0	人日				

人員配置		常勤	非常勤	派遣等	業務委託	合計
			(常勤換算)	(常勤換算)	(常勤換算)	
	管理者	1				1
	サービス管理責任者		1			1
	看護師等					
	生活支援員	1	8			11
	世話人		12			12

業務委託	給食(全面)		給食(部分)	○	清掃		洗濯	
	送迎		宿直		労務管理		会計・請求	○
	その他							

併設短期入所	(有)	無	定員	1	区分	医療型	(福祉型)
定員の変更(年度内)	有	(無)		→			月より
年度開所日数	0	日					
障害児利用状況		区分1	区分2	区分3			
	短期のみ	0	0	0			
	日中含む	0	0	0			
障害者利用状況		区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6
	短期のみ	0	0	0	0	0	0
	日中含む	0	0	0	0	0	0